

ロシア語で叙情的な歌曲や小規模な器楽曲をロマンスと呼びます。一つ一つのロマンスは小さいながら、それぞれが生み出された土地の持つ独得の音色や言葉のリズムによって、時に細やかな心模様を、時に移りゆく時の流れを鮮やかに描き出し、聴く者を一時の間何処か遠い世界へと誘ってくれます。

夏の美しい大沼の自然の中で、魅惑的なロマンスとともに、小さな音楽の旅に出掛けてみませんか？



Masayo Sudo

函館出身。青森明の星短期大学音楽科卒業。同短期大学音楽専攻科修了。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。尚美研究室員として研鑽を積み、活動拠点お函館に移し出演コンサート多数。2011年バロックオペラ上演のため、チェンバリストの森洋子氏と「IL TEATRINO〜イルテアトリノ〜」を立ち上げ、ロワジールホテル函館「オペラ de Show!!!」や「おんがくとたいせつなもの」と題したシリーズコンサートを道央、道南にて展開し、これまで33回を数える。また、音楽で災害復興を支援する函館音楽家の会「ソリダリテ」のメンバーとして、被災地に息の長い支援を送り続けている。2019年、吉田千紗氏とハリストス正教会にて「魅惑のロシア」コンサート開催。2021年、J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」全曲演奏を目指し「函館グロリア合唱団」立ち上げる。2006年函館音楽協会奨励賞受賞。2014年函館市文化団体協議会青麒麟章受章。現在、次藤音楽教室主宰。歌のグループ教室tuaVoce主宰。オフィスエラトー代表。函館グロリア合唱団代表。



Chisa Yoshida

函館市出身。函館白百合学園高校卒業後、モスクワ音楽院マスターコースで受けたO.ポリャンスキー氏のレッスンに影響を受けロシアに留学。グネーシン音楽アカデミー、及び同大学院を成績優秀者に与えられる赤のディプロマにて卒業。2007年、国際ピアノフェスティバルコンクール「ムジカクラシカ」(ロシア)で第2位。「若い演奏家のための国際コンクール〜 XXI Century Art」(ウクライナ)で、2007年アンサンブル部門第1位、2010年伴奏部門第1位。2023年伴奏者のコンクール«Nota bene!»で1位なしの第2位(ロシア)。現在は在モスクワ現代文化大学声楽科及び付属オペラスタジオ、そしてスタコフ記念モスクワ国立カペッラの専属ピアニスト、コレペティートル。演奏活動の他、ロシア各地の子供ピアノコンクール審査員や後進の指導にあたる。これまでにピアノを吉田淳子、布施谷信子、松川儒、A.ステパーノフ各氏に、伴奏法をM.クラウヴェッツ氏に、室内楽をN.ブラージュニコワ、T.クフチナ各氏に、声楽を小林節子氏に、ソルフェージュと楽典を佐々木茂、佐々木優子各氏に師事。



北海道大沼国際セミナーハウス